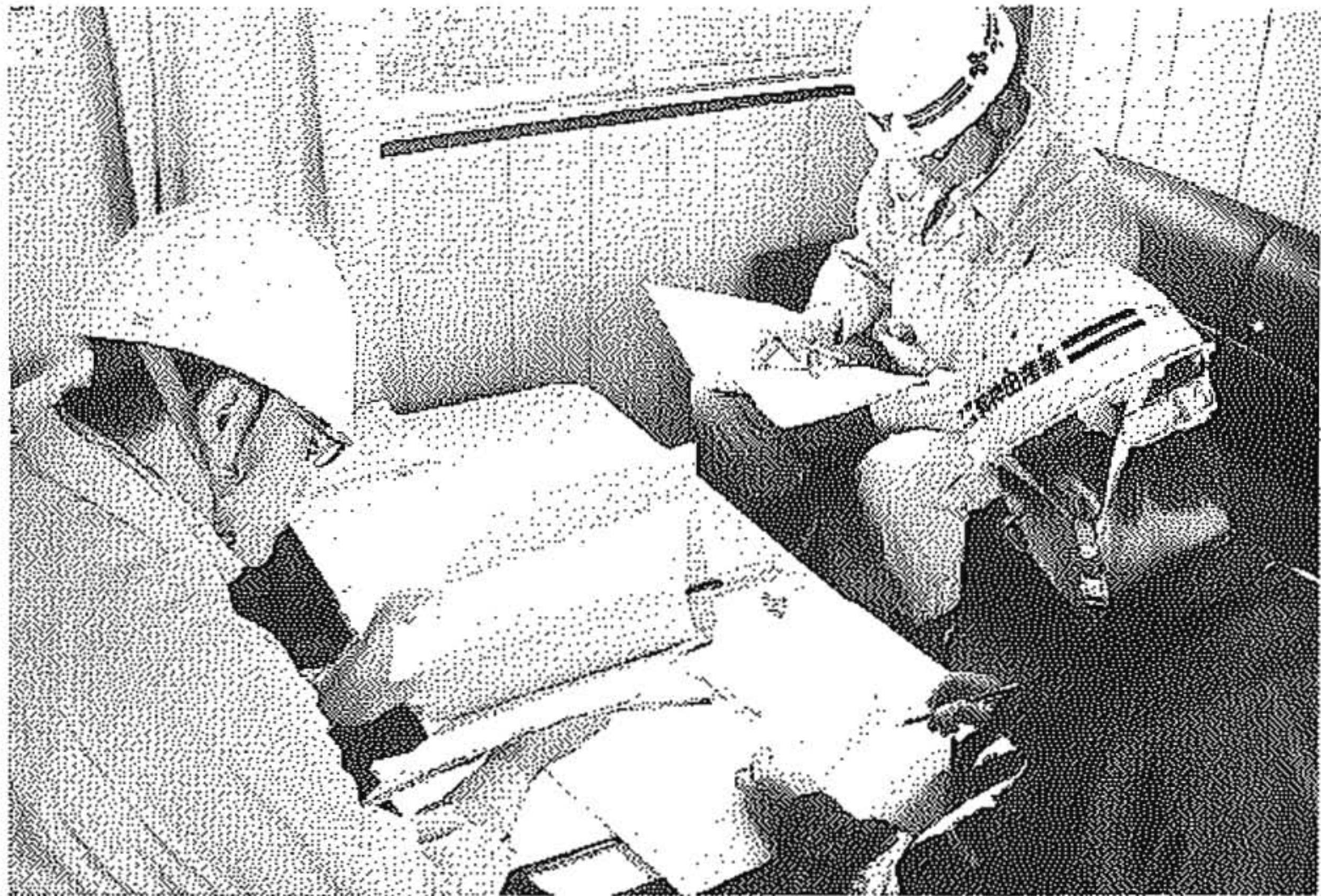


県建設業協会大根占支部安全パト

安全対策など再確認



錦江町田代の現場で

県建設業協会大根占支部(福谷俊哉支部長)は20日、管内8現場を対象に安全管理・雇用改善パトロールを実施、災害事故防止に対する自覚と各現場における安全管理のさらなる徹底を促した。同日は、会員事業主、成で錦江町4カ所、南大

鹿屋労働基準監督署、県鹿屋土木・耕地事務所、地元元注機関、錦江警察署、九州電力鹿屋営業所と県労務委員の村上慎一郎氏(奄美支部・村上建設(株)社長)など総勢50人が診断員として参加し各現場を入念にチェックした。

パトロールは、2班編成で錦江町4カ所、南大

遠慮なく指導をお願いしたい」と挨拶、各班長が報告で、現場もきれいで日誌等も整備されていたが、夜間通行安全対策や危険予知の徹底が報告された。

一行は、初めに始良町のほ場整備の現場を訪れ、県加治木耕地事務所担当

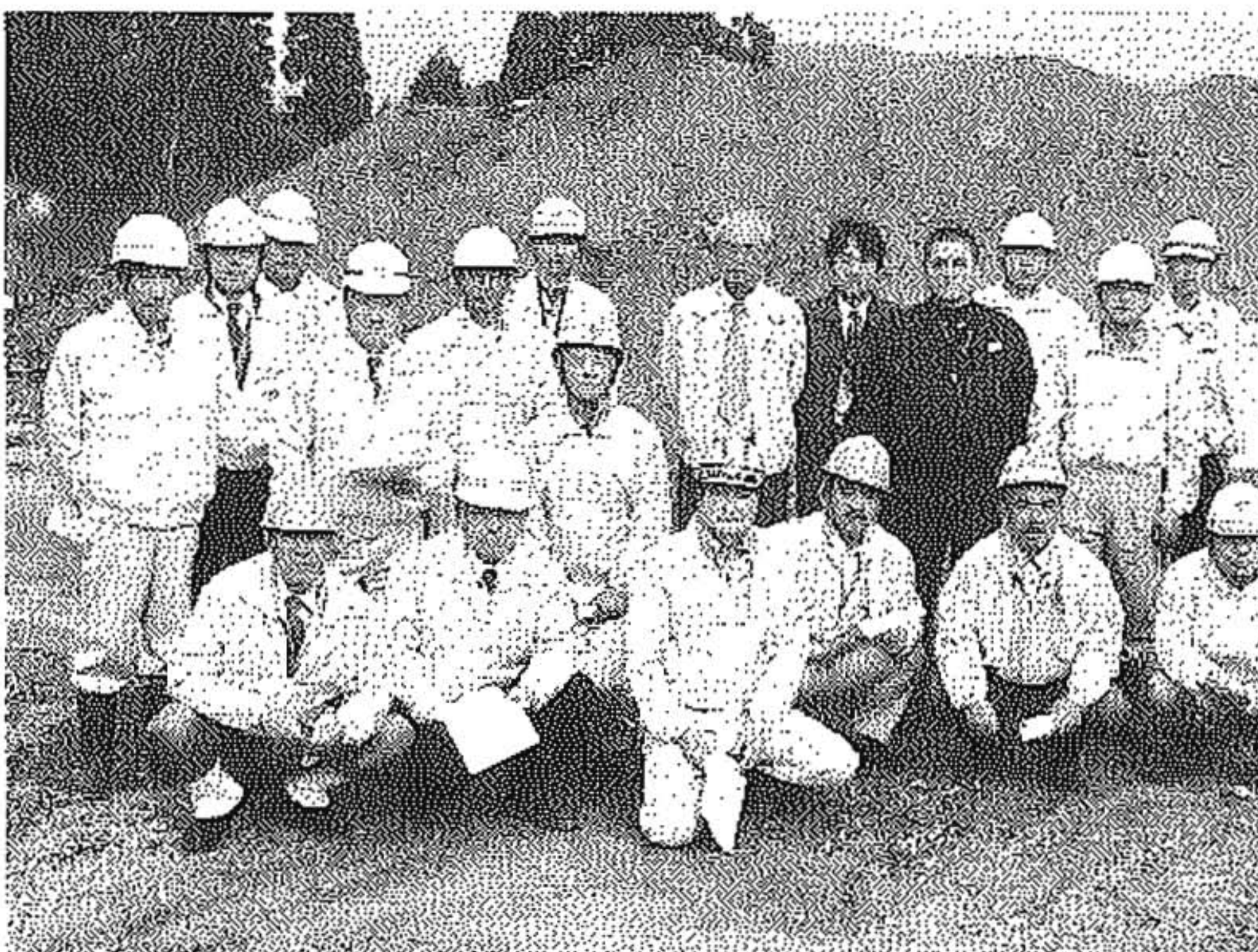
最後に鹿屋労働基準監督署の木原署長と村上労働員が「全般的には問題は無く、良く管理されていた。さらに現場を再確認

エスト・出荷実績帳簿等が整理されているかが検査のポイントだが、おおよそ管内では住民の厳しい監視と企業のモラルが高いせい

県産業廃棄物協会薩摩支部パト

適正処理の現状検証

県産業廃棄物協会薩摩支部(外園輝蔵支部長)は不法投棄防止強化月間の一環で16日、川薩保健所の仮屋園幸衛生技師らと合同で、適正処理の現状検証のため非会員施設を含め4施設をパトロールした。



4施設をパトロールした一行＝薩摩川内市の現地で

山下幸男産業廃棄物適正処理指導員(産廃Gメン)は現地で「再生骨材に木くずや鉄骨等が含まれていないか、マニユフ

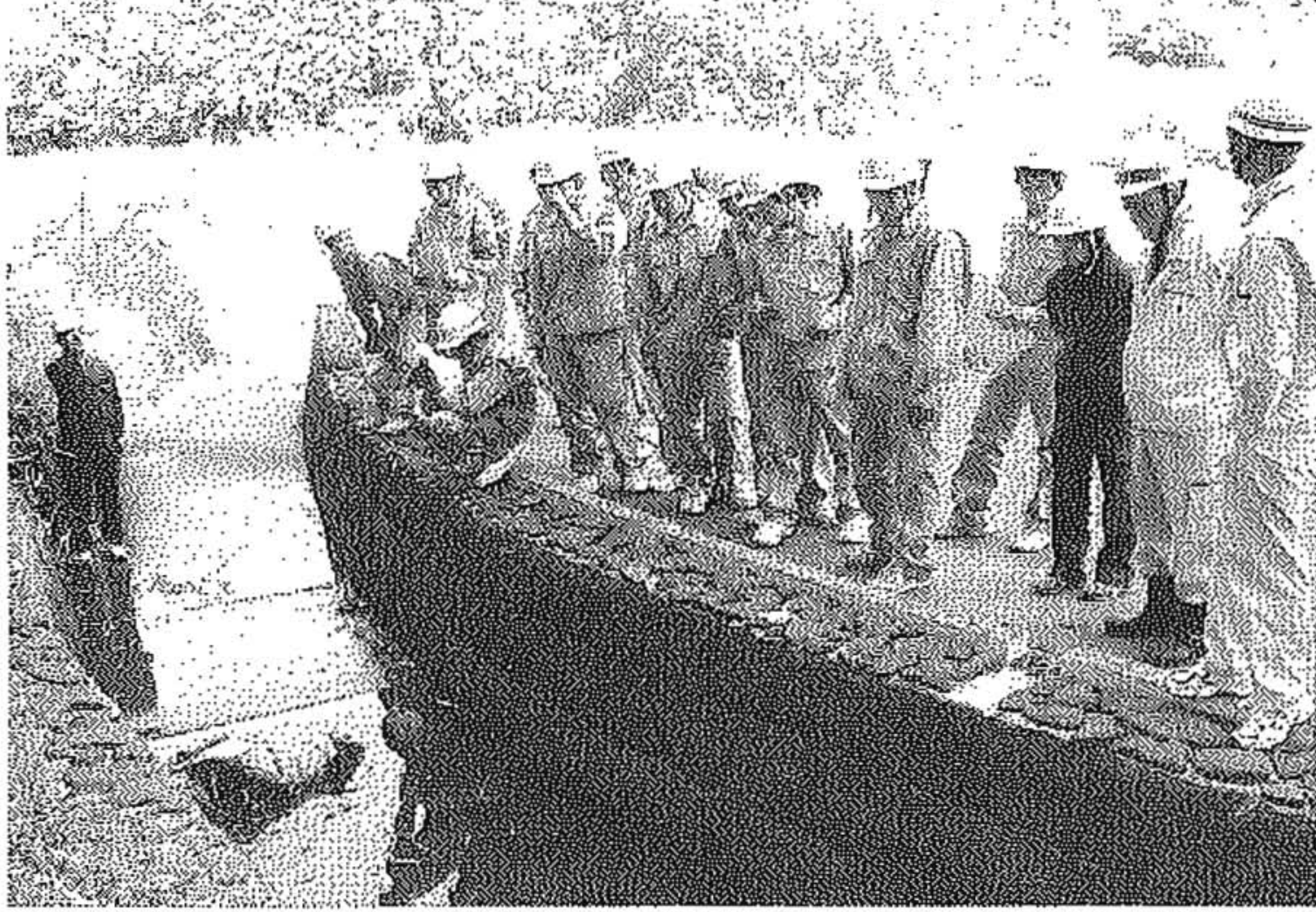
県建設業協会加治木支部 現場見学会

福山環境重視に興味津々

県建設業協会加治木支部(木山裕継支部長)は20日、県立福山高等学校の農業土木科1年生15人を対象に現場見学会を開いた。

現場見学会は、先日実施した県立加治木工業高校生に引き続いて毎年実施しているもので今回も先生、県職員、協会加

「工事は難しいのか」など積極的に質問しており、同行した学校関係者は「毎年良い経験をさせていただき感謝しています」と話していた。



用水路の整備や機能を学ぶ生徒ら＝加治木町の用水路で

住友林業薩住会安全大会

無事故の継続を

住友林業(株)住宅本部鹿児島支店(大港光義社長)は、薩住会(会長・千原弘千原建設(株)社長)の第6回安全大会が20日、鹿児島市の南日本新聞みなみホールで開かれ、薩住会会員や社員ら約150人が参加、無事

安全を先取りして作業を」と挨拶する千原会長は「鹿児島市の南



第6回 住友林業(株)住宅本部 鹿児島支店 安全大会

故無災害の継続を誓った。冒頭、千原弘会長が「柿食えば鐘も鳴るなり法隆寺」と正岡子規の句を詠み、「安全は未来永劫続くように常に安全を

先取りして作業を行うことが必要。一人ひとりが自分自身のために責任感と自覚を持ち持ち取り組んでいただきたい。また、安全に上下関係はないとい

続いて、堂下労働安全コンサルタント事務所の堂下等所長が災害の現状などを説明、川添多美子

久徳建設・久栄会安全大会

無事故無災害を誓う

久徳建設(株)(久徳博文社長、大崎町)と協力会の久栄会(権現領豊会長)は16日、大崎町のワコービルズで第22回安全大会を開いた。大会には、83人が参加し年末、年度末に向けて無事故無災害を誓った。



久徳建設株式会社

環境冊子600部を寄贈

ライフラインの重要性知って



県設備関連協議会